



公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)  
 Tochigi International Association  
 〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内  
 TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951  
 E-mail tia@tia21.or.jp URL http://tia21.or.jp

やあ! クローズアップ

TIA のトランスレータバンク

ようこそとちぎへ!

栃木県国際交流員 カエル ダントさん(アメリカ)

わくわく☆多文化

イタリアとオペラ

JICA 情報局

海のむこうの暮らしから「タンザニア」



▲通訳をする際のメモの取り方を説明する講師の内藤氏。参加者は言語ごとにグループに分かれて実習を行った

## コミュニティ通訳研修 「多文化社会で求められるコミュニティ通訳の役割」

外国人住民が増えるなか、日本人と同じように安心して暮らせるよう、生活場面での円滑なコミュニケーションを支援する「コミュニティ通訳」について学ぶ研修会を7月27日(木)にとちぎ国際交流センターで実施し、TIA トランスレータバンク登録者(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、ポルトガル語、イタリア語、ロシア語の9言語)や関心のある方など計46名が参加しました。

講師に、東京外国語大学大学院総合国際学研究院の内藤 稔氏を迎え、講演では日本国内における在留外国人の変遷や社会的背景の解説のほか、コミュニティ通訳の領域は、在留資格、労働、結婚・離婚など法律分野、年金・保険などの行政分野、また教育や医療の分野など生活のあらゆる場面であり、各分野における制度などの基本的な知識を学んでいくことが必要だとの話のほか、守秘義務の徹底や信頼関係を得るための適切な服装や態度に配慮するといった通訳者としての倫理について丁寧に解説されました。その後、逐次通訳のために必要な短期記憶のためのメモリーエクササイズなどのトレーニングをペアで行った後、市役所の子育て相談の想定で、外国人の母親と市役所職員の面談の通訳実習を行いました。

参加者からは、「内容をしっかり理解していないと、通訳もできないことがよくわかった」、「常にスキルアップが必要だと感じた」、「実際のメモの取り方が見られて良かった」との感想がありました。



**TIAのトランスレータバンクとは・・・**

言葉が出来ずに困っている外国人のコミュニケーションを支援したり、書類の翻訳などができる方にご協力いただく制度で、英語、中国語など24カ国語124名の方が登録しています。(H29.9.1現在)

TIAが翻訳や通訳が必要だという依頼を受けたとき、条件に合うバンク登録者を依頼者にご紹介しています。

**どんな活動をしている？**

依頼は外国人からも、日本人からもあります。結婚や学校の証明書、パンフレットなどの翻訳、または弁護士の被疑者接見、学校での面談、病院の診察の通訳等さまざまです。昨年度は、約300件の依頼に登録者の方にご対応いただきました。依頼の多い言語は、スペイン語、ベトナム語、英語、中国語、タイ語、韓国語、ポルトガル語の順でした。



依頼の多い言語は、スペイン語、ベトナム語、英語、中国語、タイ語、韓国語、ポルトガル語の順でした。

また、登録者を対象に研修会を毎年開催し、日頃の活動に役立てていただいています。このほか「Tタイムミーティング」という登録者同士がお茶を飲みながら、気軽に情報



▲昨年のTタイムミーティング

交換ができる機会もあります。

**登録者にインタビュー！**

ご活躍の登録者に、経験談をお聞きしました。



**スペイン語登録者 Bさん**

私がトランスレータバンクに登録したのは、日本語ができず困っている同郷の人のお手伝いがしたいと思ったからです。活動を通して日本語のブラッシュアップにもなりました。病院での通訳の場合、外国人患者に診察前に症状を詳しく聞いて、しっかり通訳できるよう準備しています。



**英語登録者 Kさん**

英語には「誰が、何を、どうするか」が明確であることが必要なので、日本語の話の内容や文章があいまいなとき、訳すのに苦労します。一方、通訳のおかげで有意義な話し合いができたこと喜んでもらえたときは、とても嬉しく、これからも努力していこうという気持ちになります。

トランスレータバンクに登録をご希望の場合は、登録用紙にご記入のうえ、担当者と面談していただきます。また、通訳翻訳が必要な方はご相談ください。詳しくは、お電話をいただくか、TIAホームページ (<http://tia21.or.jp/bank.html>) をご覧ください。

**ようこそ とちぎへ！ WELCOME TO TOCHIGI**



カエル ダント さん  
*Cael Dant*  
平成29年度栃木県国際交流員

アメリカ インディアナ州出身。  
今年7月から栃木県庁国際課に勤務。日本のロックバンドやアニメのファン。油絵、水彩画も得意。

「カエルさん、初めまして！珍しいお名前ですが、どちらが苗字ですか。」

カエルが名前、ダントが苗字です。確かにアメリカでも珍しい名前ですね。父方の祖父母がアイルランド、母方は東欧の出身なんですよ。

「日本語はいつから勉強したんですか。」

中学生の頃から日本に興味を持っていました。日本のロックバンド「ディル・アン・グレイ (DIR EN GREY)」やアニメの「犬夜叉」が好きで、高校入学後は日本語の授業を選択しました。インディアナ大学では東洋学を専攻して、主に日本語や日本文化を学び、在学中には愛知県にある南山大学に9か月間留学しました。

「初めての日本の留学生生活はいかがでしたか。」

楽しかったですね、見た目からして「外国人」なので、

声をかけてもらいやすいし、友達もたくさんできました。教科書とは違う生の日本語に触れて、勉強になりました。特に店員さんの敬語は、友達との会話と全く違う表現で、独特でおもしろいですね。また、飲食店で私が日本語で注文や質問をしても、英語で答えてくれるところがあり驚きました。外国人客へのサービスなのかもしれませんが、こちらは日本語で話しているので、不思議な感じがしました。

「一度は日本でお仕事をする事になりましたね。」

すでに大学の研究室で働いていたのですが、国際交流員を募集していることを知り、日本語の能力を活かした仕事をしたいと思っていたので、迷わず応募しました。

留学生の頃は学生の友達しかいませんでしたが、国際交流員として、もっと地域とつながったり、講座やイベントにも積極的に参加したいと思っています。

「お休みの日は何をしますか。」

リラックスしたい時は絵を描きます。これから時間ができたら、栃木県でお気に入りの場所を見つけて、風景などを描きたいですね。



▲カエルさんの作品(油絵)  
インディアナ州にあるグリッフィー湖



### はじめての英会話

5月11日(木)～7月13日(木)(全10回)  
とちぎ国際交流センター

今回、定員25名で満員御礼となり、3名の講師が交代でクラスを務めました。おなじみのイギリス人講師のマーク先生、新しく加わったイギリス人講師のギャビン先生、そしてカナダ人講師のコリン先生です。それぞれ個性のあるレッスンに受講生はとても刺激を受け、和気あいあいと英会話が飛び交う雰囲気のよい講座となりました。



▲ギャビン先生のクラスで

### 新規留学生のためのガイダンス & 懇親パーティー

5月27日(土) とちぎ国際交流センター

栃木県内の大学等の一年生を対象としたガイダンスを開催し76名が参加しました。前半は、栃木県の概要説明、先輩留学生による日本の生活や日本語上達のアドバイスや苦労話など、新規留学生からは熱心に耳を傾けていました。

後半のパーティーでは、日本舞踊、留学生による母国の歌や踊りもあり、大学を超えて交流を深めました。



▲留学一年生に体験談を話す先輩留学生

### 県民の日イベント

#### 「とちぎの YOU 達と話そう&名刺を作ろう」

6月10日(土) イオンモール小山店

栃木県フェアのイベントにTIAも参加し、日本人と外国人住民の皆さんが気軽に話せるブースを開設しました。

今回はパキスタン、フィリピン、ブラジル、ホンジュラス、ロシアの方が協力してくださいました。参加者は子どもから大人まで、文化や習慣について話したり、外国文字で名刺を作って交流を楽しみました。



▲協力者の皆さんとTIAスタッフ

### 平成29年度第1回

#### 「日本語ボランティア情報交換会」

7月14日(金) とちぎ国際交流センター

外国人にボランティアで日本語を教えている方を対象とした情報交換会を行いました。講師は(一社)アクラス日本語教育研究所 代表理事の嶋田和子氏。「授業の組み立て・実践をいっしょに考えてみませんか?」と題し、学習者の日常に合わせた授業展開の大切さや教室活動の工夫について、講話や話し合いを行いました。



▲発表にコメントする講師の嶋田氏(左端)

### 社会体験プログラム「宮っ子チャレンジウィーク」TIAで職場体験

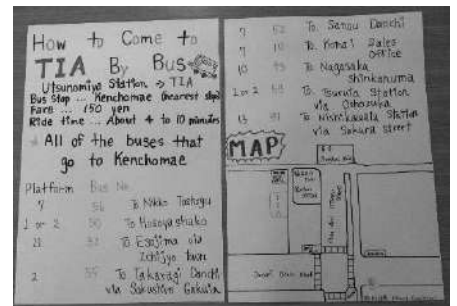
#### 宇都宮市立古里中学校 小林愛美さん、深澤佳那子さん

6月27日(火)～6月30日(金)



▲左からケルシーさん、小林さん、深澤さん

展示作品を見せる二人。県国際交流員(H29.6月時)のケルシー・レクナーさん(アメリカ)と孫雅甜さん(中国)と一緒に体験してもらいました。躊躇することなく積極的に質問する生徒たちの姿はとても頼もしかったです。



「外国人が利用しやすいTIA」をテーマとした企画で、英語版のバスの時刻表(上の写真)と地震が起きた時の注意点のポスターを作成してくれました。

「TIA ランチタイム・コンサート」は、昼休みの時間帯（12:15～13:00）に、さまざまなジャンルの生演奏を聴いていただくために、とちぎ国際交流センター1階交流ラウンジで実施しているコンサートです。美しい歌声や日本の伝統楽器で来場者を魅了しました。



◀ 7月6日(木)  
「声楽～バリトン・ソプラノによる名曲」



7月13日(木) ▶  
「琴と尺八～邦楽の調べ」



◀ 8月8日(火)  
「津軽三味線～邦楽の調べ」

## 「イタリアとオペラ」

TIA ランチタイム・コンサートにご出演いただいたバリトン歌手であり、とちぎ未来大使も務める石田忠隆氏にイタリアに根付くオペラ文化の話をお聞きました。



▲イタリアの舞台上。右端が石田さん

### ■気軽に楽しむオペラ

私は、1989年にオペラを学ぶためイタリアに留学、その後はオペラ歌手として舞台に立ち、2002年に帰国しました。イタリア

では、子どもから大人までみんなオペラを楽しみ、有名なオペラ歌手はテレビやCMに出るなど身近な存在です。また、日本のようにチケットは高くなく、安い席なら500円くらいで聞くことができます。小さな町にもオペラ劇場はあり、規模の小さいところではピアノ一台で歌うこともあります。イタリアでオペラは、飾らず、生活に溶け込んでいるんです。

### ■イタリアオペラの魅力

イタリア人とはすぐに仲良くなれました。みんな親切で、よく話しかけてくれます。しかし、オペラでは、ラテン系の明るいものより、深い悲しみの作品が多いです。オペラには明暗併せ持つイタリア人の感情が込められています。

## JICA 情報局

### 海のむこうの暮らしから ～タンザニア 体育隊員より～ 長尾耕輔さん（佐野市出身）

【こんな活動をしています！】



「これなに!？」毎週金曜日、生徒の頭にクエスチョンマークが浮かびます。今日、挑戦する運動は「野球」。初めて見るグローブ、バット、ボールに子どもたちは興味津々。タンザニアでは体育が必修ではないので、様々なスポーツに触れ合ったり、学ぶ機会が極端に少ない生徒が大勢います。そこで、同僚の先生たちと一緒に考え、週に一度、校内スポーツイベントを開催することにしました。同僚がアイデアを出してくれることも増え、スポーツを通じて、学校全体が1つになろうとしています。

【栃木県の皆さんへ】

「世界は広い。でも、世界との距離は思っているよりも、めちゃくちゃ近い。遠い？怖い？とんでもない。現実を自分の目で!!」



### JICA ボランティア秋募集説明会 小山・宇都宮

日時&場所:

- 10月7日(土) 小山商工会議所 (小山市城東 1-6-36)
- 10月21日(土) とちぎ国際交流センター (宇都宮市本町 9-14)
- \*14:00～16:00 (両日とも) 事前予約はいりません!

内容: ボランティア経験者による体験談等。応募を決めている方も、ちょっと話を聞いてみたい方も大歓迎です。

【お問合せ】JICA 栃木デスク 028-621-0777

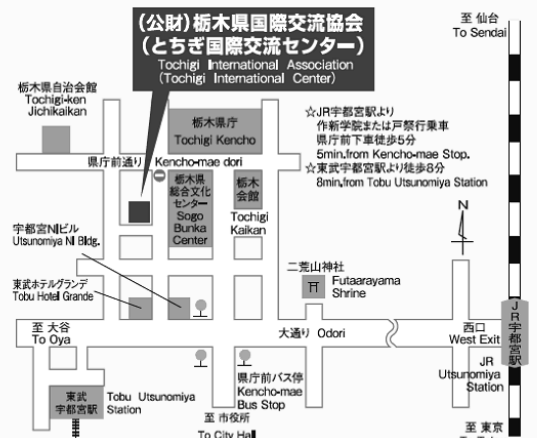
### 認知症サポーター養成講座を受講しました!

認知症について正しく理解し、センター来館者や外国人相談等に適切に対応できるよう職員研修の一環として、5月23日(火)にTIAスタッフ、県国際課職員13名が受講しました。

講師には、地域包括支援センター砥上の職員の方々を迎え、認知症の主な特徴や対応の心得などを学びました。



## TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会  
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内  
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)  
FAX 028-621-0951  
業務時間 8:30～17:15  
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日